

目・ジョンソン氏連續講義
「キルケゴール思想の辨證法的構造」

新筑のキルケゴール學者ジョンソン氏 (Howard Johnson) が日本基督教協議會の幹旋により來朝の機會に、本會も特に依頼して、左記の如く四日間に亙る連續講義(於京大文學部第七教室)を持つことが出来た。連日盛會のうちに貴重な收獲を残して、予定を終了したことに對し、ジョンソン氏はじめ關係諸方に深く感謝の意を表したい。なおジョンソン氏は現在米國テキシー州南部大學神學教授、スカンヂナヴィア協會研究員であつて、米國諸大學本科^註大學院を経てコペンハーゲン大學にも遊學、W・ラウリー老博士が「デンマーク以外の地に於てはキルケゴールを解説するに適しい人として先づあげらるべき……第一人者」と稱している人である。通譯は本會委員有賀、高田兩教授の好意によつた。

連續講義次第

- 第一講 近代文化の危機の豫言者としてのキルケゴール (六月三日、十時—十二時)
- 第二講 現代實存主義の批判者としてのキルケゴール——正しい間に對する誤れる答 (六月三日、一時—三時)
- 第三講 倫理者としてのキルケゴール——倫理の重要性和その窮極的無力性 (六月四日、十時—十二時)

第四講 神學者としてのキルケゴール——人間の間に對する神の答としてのキリスト教 (六月五日、十時—十二時)

第五講 キリスト者としてのキルケゴール——個人は如何に罪の赦しのゆゑに質存するものであるか (六月六日、十時—十二時) (同日午後、座談會)

受贈雜誌

- 哲學會誌 (中央大學哲學會) 第二號
- 一橋論叢 (東京商科大学一橋學會) 第二十七卷第三號、第四號、第五號、第六號
- 基督教研究 (同志社大學内法書教員會) 第二十五卷第二、四號
- 東洋史研究 (京都大學文學部内東洋史研究會) 第十七卷第四號
- 史學雜誌 (東京大學文學部内史學會) 第六十一一兩第三號、第四號、第五號
- 屯林 (京都大學文學部内史學研究會) 第二十五卷第一號
- 宗教研究 (東京大學文學部内日本宗教學會) 第一一九號
- 經濟學雜誌 (大阪商科大学經濟研究所) 第二十六卷第二、四、五號
- 經濟論叢 (京都大學經濟學會) 第六十九卷第五、六號
- 國語國文 (京都大學國語會) 第二十一卷第三、四、五號
- 山日經濟學雜誌 (山日經濟學會) 第二卷第四號
- 山日大學文學會誌 (山日大學文學會) 第三卷第一號
- 密教文化 (高野山大學内密教研究所) 第十七號
- 立命館文學 (立命館大學人文科學研究所) 第八十四號